

2026年2月12日

2026年度愛知大学大学院 入学試験〈経済学研究科・第2期〉

修士課程

経済学研究科	＜外国人留学生入試＞
専門科目	
科 目 名	経済原論

採 点	
--------	--

(試験時間は 60 分)

受験番号

問題用紙／解答用紙

次の設問について全て解答せよ。

問1

商品の二つの要因について説明しなさい。

問2

商業信用の役割とその限界について説明しなさい。

問3

恐慌のメカニズムについて説明しなさい。ただし、好況・恐慌・不況のそれぞれの局面について具体的に説明すること。

(裏面に続きます。)

この部分には、記入しないでください。

入学年度および実施時期	2026年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	経済学研究科
専攻・コース等	経済学専攻
入試方式	一般・外国人留学生入試
科目名	専門科目（経済原論）
試験実施日	2026年2月12日
解答又は解答例及び出題意図 （試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）	
【出題意図】 「経済原論」は、本学の入試ではマルクス経済学の基礎理論である。本試験では、学派を問わず基本的なテキストで論じられているマルクス経済学の基礎的な概念（商品・信用・恐慌のメカニズム）の理解を確認することを意図している。 【解答例（採点時の観点）】 問 1 商品の二つの要因について説明しなさい。 いわゆる「商品の二要因」についてそれぞれ、使用価値と価値（交換価値）について説明できているかどうかを評価のポイントとした。 問 2 商業信用の役割とその限界について説明しなさい。 商業信用は、産業資本家・商業資本家が商品取引に際して相互に与え合う信用である。その具体的な役割について説明できているか、さらにその限界は何か、銀行信用がそれをどのように打開するかについて説明できているかを評価のポイントとした。 問 3 恐慌のメカニズムについて説明しなさい。ただし、好況・恐慌・不況のそれぞれの局面について具体的に説明すること。 資本主義経済の固有の現象である恐慌について、その具体的なメカニズムの理解の確認を意図した問題である。好況から恐慌、そして底入れして不況に至るプロセスの資本市場や労働市場の動向について具体的に説明できているかを評価のポイントとした。	